

その朝の
ことを
何度も夢に
見る

Story:1 朝焼けにとける声と体温

…好きなものを
辞めたいんだ

もう好きじゃ
なくなった
から？

…違う

このままじゃ
好きなものを
好きじゃ
なくなつて
しまいそうで

声をかけて
きたのは
知らない子
だった

事故で極端に
落ちた視力では

顔もよく見えず
ただひどく小柄で
まだ幼い子供に
思えた

…大丈夫だよ

それでも

その

熱く
柔らかい掌と

幼い透き通った声は
よく思い出せる

あのね

好きなものを
好きなまままで
いたい時は

近づきすぎちゃ
いけないんだって

だから
少し
だけでも

離れてみたら
きっと

大丈夫だよ

朝焼けに
融けるように
俺を撫でた
その声と掌を

どうして
俺は
いまだに



夜を遺した
湿った
冷たい空気

まだ薄暗い
灰色の空

野球部

朝は好きだ

…よし

はよーッス

あれ
早いな
山田

サマー

ちよつと
部室の掃除を

おー
さすがデキる
マネージャー

空きロッカーに
隠してあった
いかがわしい
雑誌類は
処分しました

鬼マネ!!!!



…え





